

## 2013 年新春懇談会(新井会長との懇談会) 議事録 概要(1/13)

1. 日時 2013 年 1 月 13 日 (日) 13:45～14:45
2. 場所 一般財団法人少林寺拳法連盟本部 応接室
3. 出席者 一般財団法人少林寺拳法連盟会長 : 新井庸弘  
 全日本・関東実業団少林寺拳法連盟会長 : 渡邊信  
 全日本・関東実業団少林寺拳法連盟理事長 : 根本武美  
 関西実業団少林寺拳法連盟理事長 : 坂田文郎  
 東海実業団少林寺拳法連盟理事長 : 新見幸秀  
 東海理化少林寺拳法部部長 : 大塚昇  
 J R 四国少林寺拳法部部長 : 大田康司  
 関東実業団少林寺拳法連盟副理事長 : 谷合孫三郎  
 富士通中原少林寺拳法部部長 : 皆川英治  
 関東実業団少林寺拳法連盟副理事長 : 川田弘行  
 関東実業団少林寺拳法連盟副理事長 : 畑中武弘  
 関東実業団少林寺拳法連盟理事 : 橋本佳子  
 関東実業団少林寺拳法連盟事務局長 : 小林英司

#### 4. 趣旨等

40 周年の際に新井会長からご提案いただき、検討を積み重ねてきた「全日本実業団支部」が 2 月 1 日から設立の運びとなり、そのお礼と、また今後の展望について意見交換をするとともに、四国実業団連盟の設立構想、また、来年度予定をしている全日本実業団合同合宿についてのご報告、意見交換も含め開催した。

#### 5. 議事概要

##### (1) 開会に当たって新井会長からのご挨拶

- ・社会が低迷していた時期は、実業団の活動もかなり影響を受けていたと思うが、現在少し右肩上がりになっていく様相もみえてきているので、実業団には活躍を期待したい。
- ・本部としても、その支援ができればと思っている。
- ・宗教法人の方も、公務員の兼業問題等、道院運営がかなり厳しくなっているなか、実業団には可能性が色々あると思う。
- ・このように色々チャンスがあるように思うので、是非活力ある実業団連盟にしていきたいと思います。

##### (2) 全日本実業団支部設立について

このたび、全日本実業団支部の設立について、2 月 1 日に正式認可されることになり、根本理事長から、そのお礼を申し上げるとともに、その概要を説明し、その後今後の展開等について意見交換を行った。

主な意見等は以下のとおりである。

[新井会長]

- ・全日本実業団支部は、やはり OB の受け皿として有用性があると思う。
- ・途中で退職した方などで続けたい方もいると思うので、幅広く受け入れてよいと思っている。いろんな考え方ができると思う。何かあれば相談にのりたいと思うので、是非進めていただきたい。

[坂田理事長]

- ・現在既存支部においては、OB 拳士も在籍を認めていただいている状況が過去からあるので、すぐに全日本実業団支部への転籍が必要という状況ではないが、今後の社会情勢や会社の状

況によってOB拳士が続けられないということが出てくれば、全日本実業団支部への転籍を促すなど連盟としてもバックアップしていきたい。

- ・まずは場所の確保の問題やしっかりとした運営ができる体制づくりなど課題はまだ残っているので、できるところから少しずつでもやっていけるよう検討していきたい。

[新見理事長]

- ・全日本実業団支部は、実業団活性化のための手段であり、まずは既存の支部、連盟の発展が第一である。そこになかなか入れない人を受け入れるというのが全日本実業団支部の役割であると思う。
- ・実業団の特徴は、企業があつて活動出来ているというところであり、企業のバックアップがもらえる可能性も考慮に入れていきたい。

[谷合副理事長] (全日本実業団支部 支部長)

- ・何らかの事情で続けられなくなっている実業団OB拳士が全国にいると思う。そうした人が正式に拳士の登録ができ、袖章があれば、どこへいっても拳士として迎えられ練習することができるので、そうした方々の救済になればと思っている。

[橋本理事] (全日本実業団支部 会計)

- ・無事に2月1日に設立する運びとなり本当によかったと思っている。
- ・谷合支部長を事務方として応援していき、支部の発展に尽力できればと思う。

### (3) 四国実業団連盟設立について

大田部長からの四国実業団連盟設立に向けての進捗状況等について、以下のとおりご報告いただいた。

- ・実業団支部の設立状況について、2社が設立すべく2月の新任部長資格認定研修に参加する予定である。
- ・JR四国が設立した経緯は、当時の社長のトップダウンで始まった。それと同じ方式で、可能性のある県内の企業、官公庁勤務の拳士に声掛けをし、あとは社長に当該企業のトップにかけあつて設立に向けて動いているという状況である。
- ・その他、ロータリークラブで演武をやったり、青年海外協力隊を育てる会(社長の集まる会)などにも顔を出してPRしている。

これについて新井会長からコメントをいただいた。

[新井会長]

- ・トップに動いてもらうというは大変効果があると思う。
- ・また、各会社の中にも拳士はいると思うので、いけば可能性がある。

### (4) 全日本実業団合同合宿について

根本理事長から以下のとおり趣旨について説明をした。

- ・来年度は、部研がないということもあり、全日本実業団で集まる機会として合同合宿を開催したいと考えており、第一候補として7月20日(土)を考えている。
- ・また、今般は、東海実業団連盟に主催をお願いしているところである。

これについての主な意見等は以下のとおりである。

[根本理事長]

- ・全日本で一同に会して何かを行うということは、個人的には最優先課題と考えている。少々遠方であるが、四国からも是非参加いただきたい。
- ・また、新井会長、渡邊会長にもご都合よろしければご出席いただきたい。

[新井会長]

- ・関西の小林会長にもお越しいただいて、渡邊会長と講師をしていただくというのもよいのでは。

- ・また、今の学連はやる気が強いので、学連に声をかけるのも大変よいことだと思う。

(5) その他

その他、学生OBの卒業後の継続について意見交換を行い、やはり、実業団の役割は重要であり、学連、学連OB会連合会と実業団との密な連携が必要であるという認識で一致した。

そのために本部としても、今後様々な柔軟な対応をしていくとのお話を新井会長からいただいた。

また、根本理事長からは、この点は重要なポイントであるので、関西、東海も含め実業団として統一的な認識としたいとの意見があった。

以上